

新装になった東京駅も見学させていただけました。実行委員の皆様お世話大変有りがとうございました。

今回は、喜寿の年、二年後に島根県温泉津温泉にて再会する事を約束して散会しました。(実行委員の石田、岡本、佐々木、橋本氏の皆様有難うございました。)



九月十五日  
機械科 四十二年卒  
(WHIM会)

温泉津町「旅館ますや」にて開催。二十一名の参加。

温泉街入口の駐車場へ先着の十数名が集合し、はなぐり岩で知られる世界遺産石見銀山の一角、沖泊港や、福光まで少し移動して福光石の石切り場などを見学の後、再び温泉津に戻り温泉旅館街を散策して宿に。今回が五回目の開催。

初めての参加者もあり、自己紹介も兼ねて近況報告。楽

しい歓談のなか今回も石見神楽の上演(恵比寿・大蛇)があり、一同大いに盛り上がる。



二十名参加。玉造温泉から一年半、元気に再開にこぎつけました。八十七才になる恩師・安藤博先生も大阪からかけつけて下さいました。「美意延年」(心を楽しませれば、長生きする)実感のこもった言葉を頂きました。



「話すことはいつも同じ。同じところ、笑い、酒を酌み交わす」心のオリミたいなものがスーッととれていく……そして誓い帰路につく……。(文責 高松一徳)

た。二十九名の出席者。来賓として平田義隆・石川康收先生が出席されました。

六月二十四日  
機械科 四十一年卒

紫闘会の同窓会を「のがわや旅館」において開催されました。

二十三人の出席者。来賓として平田義隆・石川康收先生が出席されました。



五月四日  
機械科 四十五年卒

獅子会の同窓会を「パレス和光」において開催されました。

24年度総会 & 学園祭見学

江津工業高校教職員OBで組織する工友会(会員六十名)の総会および学園祭の見学を十月三日に開催しました。

休日ではなかったこともあり十一名の参加でした。文化祭では、各科学部の展示作品を生徒の説明を聞きながら見学しました。退職後初めての会員の方や久しぶりに来校された会員の方もおら

れ、なつかしさのあまり予定を超えて実習棟への見学もさせていただきました。

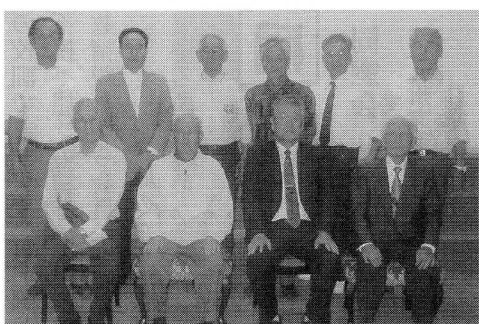
その後、古藤校長より江工の現況を資料にて詳しく説明していただきました。

また、就職試験直後の進路状況もお聞きし、順調に内定を戴いている旨の話聞き安堵した次第です。その後江工を後にし、「パレス 和光」へ移動し総会兼昼食会となり、平田義隆会長の挨拶、続

いて事務局より会務報告等をし、なかでも懇親旅行の開催の難しさなど今後の会のあり方について意見交換、会員の募集を積極的にとの意見もありました。

その後、昼食会となり近況報告や健康法・おもしろい川柳などの情報で盛り上がり、楽しく有意義な会となりました。

※参加者(敬称略)  
石川 康收、井上 正人、上手 武光、神田 茂、佐々木一郎、佐々木 馨、高木 嗣夫、高野 武士、



土井 正人、平田 義隆、佐々木文人  
工友会事務局 佐々木文人

工 友 会 だ よ り

## 平成23年度 江工会一般会計決算書

## 【1】収入の部

項 目	本年度予算額	本年度決算額	増△減	摘 要
1. 繰越金	1,066,307	1,066,307		
2. 会費・入会金	734,400	724,855	9,545	関東・関西支部より
3. 寄付金	10,000	20,000	△10,000	
4. 繰入金	0	0	0	預金利息
5. 雑収入	293	114	179	
合 計	1,811,000	1,811,276	△276	

## 【2】支出の部

項 目	本年度予算額	本年度決算額	増△減	摘 要
1. 工業教育振興費	10,000	10,000	0	
2. 会報発行費	185,000	178,500	6,500	会報46号発行 (2,000部)
3. 記念品費	25,000	23,450	1,550	卒業生への記念品 卒業証書用角筒
4. 会館運営費助成	150,000	150,000	0	
5. 通信費	30,000	20,560	9,440	案内状、会報発送
6. 旅費	350,000	306,880	43,120	支部訪問
7. 会議費	200,000	192,430	7,570	本部総会
8. 慶弔費	20,000	53,788	△ 33,788	
9. 雑費	30,000	25,940	4,060	広告料 (高校野球) 入会式資料代
10. 積立金	0	0	0	
11. 予備費	811,000	0	811,000	
合 計	1,811,000	961,548	849,452	

## 平成24年度 江工会一般会計予算書

項 目	本年度予算額	本年度決算額	増△減	摘 要
<b>【1】収入の部</b>				
1. 繰越金	849,728	1,066,307	△216,579	平成23年度繰越金
2. 会費・入会金	1,004,000	734,400	269,600	平成24年度卒業予定者93名×900円×12ヵ月
3. 寄付金	10,000	10,000	0	
4. 繰入金	0	0	0	
5. 雑収入	272	293	△ 21	
合 計	1,864,000	1,811,000	53,000	
<b>【2】支出の部</b>				
1. 工業教育振興費	10,000	10,000	0	県高校工業教育研究会へ
2. 会報発行費	180,000	185,000	△5,000	会報47号発行
3. 記念品費	33,000	25,000	8,000	卒業生への記念品、卒業証書入れ93名分
4. 会館運営費助成	150,000	150,000	0	
5. 通信費	25,000	30,000	△5,000	案内状、会報発送
6. 旅費	350,000	350,000	0	支部訪問
7. 会議費	200,000	200,000	0	本部総会、各支部総会
8. 慶弔費	30,000	20,000	10,000	
9. 雑費	30,000	30,000	0	広告料、他
10. 積立金		0		
11. 予備費	856,000	811,000	45,000	
合 計	1,864,000	1,811,000	53,000	

事務局だより  
平成二十四年一月〜十二月

二十二年(平成二十四年)

二月一日 会報四十六号発行  
県内外各支部、卒業生在籍、地元企業、現旧教職員、在校生、同窓会等に配布。

二月十九日 関東支部総会

西村和也(建築科四十七年卒)支部長はじめ九十五名の会員の出席。来賓として、関西支部より森畑 昇支部長、橋目 福司さん(建築科三十九年卒)、松垣実雄副支部長、江津支部より事務局長の横田 学さん、島根県東京事務所より一名、山陰中央新報社より一名が出席されました。総会では、前年度の活動(事業)や決算の報告、本年度の活動(事業)計画や予算についての審議がありました。また前支部長の塚本 清さん(建築四十七年卒)へ本部より感謝状の贈呈がありました。懇親会では、アトラクションとして 邑智郡美郷町都(みやこ)神楽団による神楽が演じられ大変盛り上がりしました。本部より、室安会長、古藤校長、横坂事務局長の三名が出席しました。

二月二十五日 九州支部総会

大草 正支部長支部長はじめ十三名の会員が出席。山口支部から七名が参加された。今年度は創立五十周年記念というところで、支部運営功労者三名(大田五美さん(建築科

二十年卒)、河野孝志さん(建築科二十六年卒)、佐倉辰夫さん(建築科十七年卒)に感謝状と記念品が贈られた。総会時では本年の事業・決算が報告され、役員改選として、坂本源一さん(建築科三十四年卒)が副支部長、日高源市さん(建築科三十年卒)、宮本義弘さん(建築科三十三年卒)、岡崎勇夫さん(建築科三十四年卒)が幹事として承認された。懇親会では大田五美さんや山口県支部長の吉崎 錦明さんのすばらしい歌声で、大いに盛り上がりしました。本部より室安会長、高月事務局長が出席。

二月二十六日 弥栄支部総会

大谷十三二支部長(工化科四十五年卒)はじめ十三名の会員の出席。本部より室安会長、古藤校長、横坂事務局長の三名が出席しました。前年度の活動(事業)や決算の報告、本年度の活動(事業)計画や予算、次回幹事についての審議がありました。また前支部長の三浦寛章さん(機械科昭和五十一年卒)に本部より感謝状が贈呈されました。懇親会では、総勢十六名(本部三人含)の出席。会場は離れの古民家であり、親睦を深められました。

二月二十九日 新卒者入会式

江工会入会者(平成二十三年卒業生六十七名)工業化学科 昭和五十年卒業の南 浩二さんより「夢を追いかけて」と題して卒業生を控えた生徒

たちに、自分の経験をもとに熱のこもった講話をいただきました。四月十二日・十三日 室安延博会長が四月十日にご逝去されました。お通夜・葬儀。多くの参列がありました。土井正人市議会議長・勝田友治関東支部副支部長・砂田忠副会長・風早 昭関西支部長事務局他

四月二十六日

砂田 忠・上手武光・松浦三男副会長に集まって戴き、後任の会長についてを検討した。歴代、江津市議の議長が選出されているということで、議員の方に検討いただくよう依頼する。

四月十五日 山口県支部総会

吉崎 錦明会長はじめ会員二十三名の出席(担当徳山地区)前年度の活動(事業)や決算の報告、本年度の活動(事業)計画や予算の審議がありました。懇親会では、アトラクションとして、ハーモニカ演奏と歌謡曲・カラオケ大会等でお大いにお盛り上がりしました。本部より、古藤校長、倉本事務局長が出席。

五月十六日

江工会理事會・総会 室安延博会長の後任として土井正人さん(工業化学三十九年卒)が承認されました。

二十三年度事業・決算報告 二十四年度事業・予算審議 すべてが承認された。

懇親会に関東支部副支部長勝田友治さんをはじめ、

六月二日 関西支部総会

森畑 昇支部長がご逝去され、新しく風早 昭さん(建築科四十二年卒)が支部長に承認された。支部長をはじめ五十二名の会員の出席。来賓として、関東支部より西村和也支部長、小笠原方正副支部長の二名の出席がありました。また、江津支部より横田学事務局長、理事の上野博史さん(工業化学科四十九年卒)が出席され、ふるさと定住のPRを行いました。総会では、前年度の活動(事業)や決算の報告、本年度の活動(事業)計画や予算、新役員についての審議がありました。懇親会には総勢五十九名の出席があり、アトラクションとして、タヒチアンダンスが演じられ、山崎慎次さんの新曲も披露され、大変盛り上がりしました。本部より、土井会長、井上教頭、高月事務局長の三名が出席しました。

六月十六日 浜田支部総会

松浦三男支部長はじめ会員二十名の出席、本部より来賓の土井正人新会長を含め二十一名の少人数となりました。総会では、前年度の活動(事業)や決算の報告、本年度の活動(事業)計画や予算についての審議がありました。懇親会は、大変盛り上がりま

十一月二十五日 益田支部総会

佐々木忠之支部長はじめ十七名の会員が出席。総会時には本年の活動(事業)や決算が報告されました。その後、写真撮影・懇親会と進み、古藤校長より学校の状況報告、沖田事務局長より事務局報告を行いました。懇親会は、昔話・カラオケ等で雰囲気も良く盛り上がりしました。本部より古藤校長、沖田事務局長が出席

計 報

謹んでお悔やみ申し上げます  
会 長 室安 延博(建築31年卒)  
元会長 岩根 勲(木建12年卒)  
会 員 岡本 友伸(工化39年卒)  
森畑 昇(機械41年卒)

編集後記

多忙な折、快くご寄稿いただきましたこと、厚くお礼申し上げます。おかげさまで第四十七号を発行することができました。一面の写真は桜と校門の風景です。きれいな桜の下を生徒は登校しています。なお、今後とも会報にたいしてご意見情報(同窓会報告、会員消息等)がございましたら事務局へご連絡をお願いします。

TEL〇八五五(五二)二二二〇  
FAX〇八五五(五二)二二六四

# 江 工 会 会 報

発行所  
江 工 会

島根県江津市江津町1477  
島根県立江津工業高校内  
電話 (代) 0855-52-2120  
郵便番号 〒 695-0011

## 就任のごあいさつ

会 長 土 井 正 人

(工業化学科 昭和三十九年卒業)



皆様あけましておめでとうございます。昨年四月十日

日 室安会長の突然 ご逝去の報に接し、昨日まで元気でいられたのに、何が起きたのかと、ただただ驚くばかりでした。あれからすでに一年近くが経ちます。心からご冥福をお祈りいたします。

さて、その様な事情から会長が空白となる中、人選が進められた様です。本来なら副会長が後任として就任されるのが本意とは思っていましたが、当時私が市議会議長の任にあったため、白刃の矢が当たったと申しませうか、室安会長の残任期間というところで大役を引き継がせていただきました。

私自身、昭和四十五年より

平成十四年三月までの三十二年間母校で勤務させていただく中で、ポート部の顧問として、生徒と一緒に部活動に熱中し、充実した日々を送らせていただきました。そうした中多くの卒業生の皆様方に絶大なご支援を賜りました。特にポートの格納庫(艇庫)建設にあたっては、物心両面において応援とご支援をいただき、平成十一年三月に念願の艇庫が完成し、これをもって心置きなく退職する事が出来ました。

ご支援いただいた多くの卒業生の皆様へ、改めて心より厚くお礼申し上げます。

皆様方にいただいたご支援に対し、少しでもお役に立てるよう会長の任を務めさせていただきますので、よろしくお願い致します。

今、少子高齢化の波は田舎程激しく、江津市民約二万六千人程ですが、高齢化率は三三%と三人に一人は六十五才以上となつています。そうした中、近年の出生は年間約一五十人前後で、人口も年間五百人近く減少しており、大変厳しい状況となっております。

市内には、四つの高校があり、一年生の入学定数は四百人程となっておりますが、市内の中学卒業生は、現在二百二十五人程です。どうみても市内の中学卒業生だけでは不足しています。今後どうして入学生を確保していくのかが、大きな課題となっております。

学校の方でも色々工夫をしPRに務め、ものづくりのスペシャリストの育成に力を注がれています。

平成二十六年(来年)には開校八十周年を迎え、卒業生も一万二千人を超える歴史の我が母校です。どうか卒業生の皆様も母校発展と、存続のためご支援をたまわりますようお願い申し上げます。

結びに母校の発展と、皆様方のご健勝をお祈りし、就任に当たつてのごあいさつと致します。

## 石見の現状とキャリア教育

校 長 古 藤 政 人



江工会員の皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。平素より、本校の教育活動に格別のご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。前会長の室安延博様は昨年

四月十日ご逝去されました。あまりにも突然の悲報で、ただ驚愕いたしました。永年にわたり江工会長を務められ、明るく温かな人柄で会を牽引してこられました。支部総会等でご一緒した時のお姿が忘れられません。心から哀悼の意を表します。



桜 と 校 門

さて、文豪・森鷗外は自身を「石見人森林太郎」と呼び、石見を愛していました。その石見地区も少子高齢化の進行により、全体で人口が二十万人余り、江津の人口はほぼ二万六千人です。十八歳から二十五歳までの若年層は、進学・就職により県外への転入が転入を大幅に上回っています。

今、「社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てる」キャリア教育が叫ばれています。そのキャリア教育の推進には地域社会や企業との横の連携が重要であり、その前提として「現状認識」をしつかり持たせなければなりません。その上で、現在の厳しい現状の中で生き抜いていく覚悟と、そのために必要な能力や態度を養っていくと考えています。

むしろ、プラスの面もしつかりと伝えていく必要があります。島根県への進出企業の満足度は、全国で第二位の評価を得ています。河川水質ラッキングは全国一位、人口あたりの犯罪件数は全国四十七位、浜田市の三隅太平洋校は高さ・太さなどで日本一です。このような全国に誇れる側面もしつかり伝え、視野を広げ

ることでふるさとへの誇りを持たせたいと考えています。石見地区では六割が県外就職ですが、これからは県外就職者・県外進学者の十〇二十二年後を見据えた横の連携も必要になってきます。今日の厳しい状況の中でも、活力ある社会の構築に奮闘する人との出会いを通して「私も将来、こうして地域に貢献できたらいいな」という「芽」をもって高校を卒業させたいと考えています。

キャリア教育推進の面からも、江工会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。

# 江工会 支部 だより

## 関東支部

### 江工会との出会い

副支部長 岸 節 雄  
工業化学科 昭和三十七年卒業



新年おめでとうございます。各支部の皆様が江工会

の思いを会報に通じて頑張っ

て居る事を感じて發展しますことを祈念致したいと思えます。

昨年の政権は「内憂外患」、東日本大震災復興、原発問題、円高デフレ、不景気、外交面では近隣諸国との諸島問題等多岐に渡り世間を騒がせていました。

今年、新政権に依って積極的な政策が打ち出されていますが、国民の一人として成り立つべき様他人事みたいですが願うものです。

江工会との出会いですが、昭和三十七年江工卒業時に入会金五百円と江工会（卒業生会）の文字が入ったバッヂを戴いた。（現在紛失）

大阪に就職して六月頃、関西江工会の会合が梅ヶ枝町の島根会館で開かれ出席しましたが、その後この縁は約三十年間、東京、名古屋等幾度か転勤を重ねていて全く江工会の事は忘れていました。

工場勤務から営業職に移って世間の敵に荒波に鍛えられ各地の人との出会いで出身地、田舎の話題が出ると何かとお互いの気持ちが解けて意気投合した場合が多々経験し、「ふるさと」と言うものが懐かしいものだと思います。

平成七年在京の時、突然関西江工会再建メンバーの方から電話、どうして消息が判ったのか定かでない。

たかが三年されど三年の江工生活が、又田舎の話題を求めて総会に出席しました。昔なつかしい諸先輩方に会って多に話題で盛り上がり、その後からも今日に至ってゴルフ会、ハイキング会、魚釣り、新人会員歓迎会、役員会、総会とあらゆる行事に参加させて頂き親交を深めています。皆様も出来るだけこの会に参加して別の人生社会生活を満喫してみませんか。石見弁での会話楽しいですよ。

## 関西支部

### 「友の想いを継いで」

支部長 風 早 昭  
建築科 昭和四十一年卒業



会員の皆様には新年をご家族お揃いでお迎えの事とお慶び申し上げます。

昨年はあの東日本大震災後の復興もなかなか進まない中、政局は混乱し年末の総選挙が行われる慌ただしい年の

瀬となりました。一方、ロンドン五輪での日本選手の活躍や、iPS細胞開発の山中伸弥教授のノーベル賞受賞という嬉しいニュースに日本中が沸いた年でもありました。

江工会では昨年は悲しい事がありました。会のトップの室安会長の訃報に加え、関西支部では、支部長の森畑昇氏が急逝しました。

森畑君と私は同級生であり、科は違ったのですが同じバレー部の仲間。当時から彼は部員の信頼も厚く、部長を任される誠実な人柄でした。一昨年の支部長就任後も、精力的に支部を引っ張ってくれました。そんな彼が昨年の会報の中で「同窓会のススメ」と題し、仲間と集う楽しさと意義について書いていました。そこには彼の級友への愛情と江工会への想いが詰まっています。今後は私たちが、彼の想いを引き継いで会の活動に尽力してまいります。

そうした事を受け、昨年六月二日に弥生会館で行った支部総会では、一部の総会で役員改選を行い、二部の懇親会ではタヒチアンダンスの賑やかな踊りを楽しみ、歌手の山崎史さんに新曲を披露し

て頂くといい充実した内容で  
した。

当日、遠路はるばるおいで  
頂いた土井正人新会長をはじめ  
めとする御来賓の皆様にご改  
めとお礼申し上げます。さらに  
昨年は親睦行事のゴルフコン  
ペを四月・七月・十二月に全三  
回開催し、年末には恒例の元  
役員諸先輩と現役員との忘年  
会を十二月七日に行いまし  
た。膝をつき合わせて支部の  
将来に対して意見を頂くなど、  
大いに語り合う楽しい会  
となりました。

新年を迎え、今年も関西支  
部役員一同、支部の活性化に  
一層の努力をして参りますの  
で、ご指導のほど宜しくお願い  
致します。

山口支部

昨年を振り返って

支部長 吉 崎 錦 明  
(建築科 昭和三十一年卒業)



江工会の会  
員の皆様あけ  
ましておめと  
うございます。

最近の江工会山口県支部総  
会は、新卒者の就職もなく高  
齢化が進み、出席者が減少し  
ております。

総会の場所を山口地区、岩  
国地区、徳山地区、宇部地区、  
そして下関地区の五地区に分  
け毎年場所を移動してござい  
ますが、当初は各地区からの参  
加者が多くなり喜んでいまし  
ましたが、最近は場所に関係なく  
減少しており、何か妙案がな  
いかと苦慮しております。

昨年四月十五日に、江工会  
山口県支部総会を開催いたし  
ましたが、四月十一日、室安会  
長ご逝去の悲報に接し、同級  
生でもあり、総会でお会い出  
来る事を楽しみにしておいま  
したのに誠に残念でした。昨  
年の二月二十五日に江工会九  
州支部総会で懇談し、小倉駅  
で別れたのが最後になりました。  
江工会の会長として永年ご

活躍頂き、有難うございま  
した。ご冥福をお祈り致します。

昨年は衆議院選挙があり、  
自民党の圧勝で安倍晋三総理  
大臣が再び誕生しました。山  
口県からは、伊藤博文、山県  
有朋、桂 太郎、寺内正毅、  
田中義一、岸 信介、佐藤栄  
作、安倍晋三の八人の総理大  
臣が出ておりますが、特に安  
倍総理には、日本経済の活性  
化と東日本大震災復興を急  
ぎ、外交では、尖閣諸島、竹  
島、北方領土の問題、北朝鮮  
の拉致の解決、等問題が山積  
して居ります。

若者が夢と希望を持って働  
ける社会、少子高齢化が進む  
なか、高齢者が安心して暮ら  
せる社会を築いて欲しいと思

います。  
最後となりましたが会員の  
皆様方のご健勝とご活躍を心  
からお祈り申し上げます。

益田支部

支部報告

事務局 堀 義 春  
(建築科 昭和四十年卒業)



新年明けま  
しておめでと  
うございま  
す。江工会  
員の皆様には益々ご清栄の事  
とお慶び申し上げます。

益田支部も平成二十四年  
十一月二十五日(日)に第九  
回支部総会を“ちるちるみち  
る駅前店”で開催しました。  
出席者は十七名でした。益田  
支部管内には卒業生百三十六  
名います。建築六十二名、木  
芸五名、機械三十六名、工業  
化学十二名、電気二十一名で  
す。

全員に総会案内状送付しま  
すが出席者は十七名でした。  
内、支部役員十一名です。支  
部会費納入者は毎年四十名程  
度です。

益田支部は、益田市、美都  
町、匹見町、津和野町、吉賀町  
と広範囲で過疎地でもあり交

通の便が悪いので、出席率増  
加のため開催時間を昼にした  
り、開催日を祝日・日曜日に  
と工夫してきましたが出席者  
増加にはつながりませんでした。

設立当初は四十名近くの  
出席者でしたが、最近は十八  
名程度で顔ぶれも一緒の状況  
です。

総会終了後の懇親会には、  
来賓として学校長古藤政人  
氏、本部事務局沖田照晃氏を  
お迎えして他支部の状況や学  
校の現状についての報告があ  
りました。生徒の確保が今後  
の課題だと説明がありました。

今回はゴルフコンペも参加  
者が少なく中止になりました。  
カラオケ・校歌・応援歌  
等で盛りあがり定刻の八時に  
閉会しました。

私も昭和四十年三月から平  
成十五年十一月まで関西にい  
まして関西支部に出席してい  
ました。出席者も多く酒を酌  
み交しながら昔話に花を咲  
かせたものでした。ゴルフコ  
ンペもありまして宝塚のゴル  
フ場で優勝した事を思い出  
します。

平成十六年に益田支部設立  
の話があり幹事の一人とな  
り益田支部を設立しました。  
今年は何回となり節目の年





でもありますので、佐々木忠之支部長を中心にして、若手を前面に出して盛大な支部総会にしたいと思います。

江工会本部の皆様は大変お世話になりますが、今後共ご支援宜しくお願い申し上げます。

会員皆様のご健勝をお祈りいたします。

### 弥栄支部

#### 新年を迎えて

支部長 大 谷 十三一  
(工業化学科 昭和四十五年卒業)



新年明けましておめでとうございませう。江工会の

会員の皆様には益々御清栄のこととお慶び申し上げます。尚、永年江工会会長を務めて頂いていました室安延博氏が四月十日御永眠されました。心よりお悔やみ申し上げます。

さて、年末には民主党から自民党へと政権が変わり、農業問題や雇用問題等私たちが取り巻く環境は多岐にわたる益々混沌としており、あらゆる面で厳しい局面を迎えております。

このような世相では在りますが、昨年も弥栄支部では二月二十六日に「ふるさと体験村」に於いて第二十六回の定期総会を開催しました。当日は江工会会長室安延博様、学校長古藤政人様、事務局横坂匠様にわざわざ雪多き当地までお出でいただき、江工の最近の状況等の説明を受けながら、在校当時の思い出話を

地酒を酌み交わしながら歓談しました。

総会の最後には応援歌・校歌の大合唱で締めくくりました。支部会員二十数名と少人数で平均年齢約五十二才と高齢化も進んでいます。今年もまだ皆さん元気です。今年も二月には計画したいと考えています。

最後になりましたが、江津工業高等学校生徒並びに江工会員皆様の活躍とご健勝を心より祈念申し上げますと共に弥栄支部の活動ご指導御協力をお願い致します。



### 江津支部

#### 江津工業高校の魅力化と地域化を目指して!!

(八十周年に向けて)

事務局 横 田 学

(工業化学科 昭和四十三年卒業)



昨年は、室安会長がお亡くなるという言葉

な事からスタートいたしました。室安先輩の江工会に対する熱い思いを我々後輩がしっかりと繋げていくことが役割で有る事を心に誓いながら母校の魅力化と地域化に向けて取り組んできました。

昨年度の取り組みについて

- ① 関東支部年次総会出席、二月十九日
- ② 室安会長 通夜・葬儀 (砂田支部長弔辞)
- ③ 五月十三日「ふるさとで働きを考える」PTA総会で企業×生徒×保護者トークセッション開催(全校生徒×保護者×地元企業四社)
- ④ 五月十六日江工会年次総会出席(土井新会長選出)
- ⑤ 関西支部年次総会出席、六月二日(浜田支部の上野氏出席)
- ⑥ 十二月十日 進路セミナー

#### (二年生) 講義

⑦ 十二月二十一日 OB教室で授業(株・シテイプラス テック) 荒木専務 二年生 八十周年に向けてOBとして、出来る事を明確にして取り組んで行きたいと思っております。全国のOB会員の皆様ご協力を宜しくお願い致します。



### 浜田支部

#### 支部報告

事務局 佐々木 敏 博

(機械科 昭和四十二年卒業)

会員の皆様には、益々ご清



祥のこととお慶び申し上げます。

浜田支部は平成二十二年に再出発し、昨年六月十六日に第三回目の総会を開催いたしました。この日は役員皆さんの多くが都合悪く、出席は本部より来賓の土井新会長を含め二十一名の少人数となりました。(因に昨年は二十九名の出席)年会費納入会員は、役員さんのご尽力で五十七名と、かなり増えてまいりました。今後の総会出席者増へつながることが期待できます。

そして各支部とも、若い年代の出席者増にも苦心しておられることと思います。「広報 はまだ」での案内だけでは限界があります。

地域とすれば江津市に次いで卒業生が多いのですが(最新名簿上約一千八百名)、かつての同級生や部活つながりの先輩や後輩、職場の先輩後輩(大きな事業所ではかなりの数)、それから町内の先輩後輩への声かけなど、日頃のコミュニケーションも大事でしょう。

とはいえ、総会後の懇親会では、出席者全員楽しく歓談、学生時代の思い出話に花を咲かせ、応援歌、校歌を大

声で歌い、最後は善田奎石氏のご発声で乾杯をして、会を閉じました。

最後になりましたが、母校の更なる発展と会員の皆様のご健勝とご活躍を祈念いたしますとともに、今後のとも浜田支部へのご指導、ご支援よろしくお願い申し上げます。



江工会浜田支部総会

### 江津市役所支部

#### 支部の報告

支部長 今 田 三 之  
(工業化学科 昭和四十七年卒業)



新年明けましておめでとうございます。会員の皆さま、昨年国内では、経済、

様方におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

外交、防衛、エネルギー問題震災の復興、更には教育問題等、また 年末に実施された衆議院議員選挙において、自民党による政権奪回等、国政においては様々な面において混乱が続きました。また、地方にとつても極めて低迷深き一年でありました。本市においては、急速に進む人口減少に歯止めをかけるため、「第五次総合振興計画後期計画」において定住促進四大プロジェクトを掲げ、様々な施策を展開しております。特に私たち、「江工会員」の一番の思い出深い、江津駅前地区の活性化事業によるあけぼの通りの道路整備やショッピングセンター モアの跡地を活用した「公共公益施設」の建設等、長年の課題でありました江津駅前再生事業がいよいよスタートします。また、併せて民間事業者による江津駅前周辺へのビジネスホテルの建設計画も同時に進行しております、昔の賑わいのある江津駅前が再び復活するよう期待するところでもあります。

しかし、一方で少子化に伴う県立高校の再編問題が大きな課題となっております。

とりわけ、市内の県立高校二校(江津高校・江津工業)

についてここ数年、生徒数の定員割れが続いており、この二校の生徒数の確保対策として、本市において一月から桜江地域の生徒を対象とした(江津高校・江津工業)を経由する帰宅用無料通学バスの運行を始めました。

特に部活動終了後の足として利便性を高め、生徒数の確保へつなげるねらいで実施されました。本市では現在、市内の私立高校が自前の通学バスを走らせていることや、生徒の確保対策として生徒や保護者が交通の便の悪さにより両校への進学を敬遠することがないよう、当面バス運行を行う計画であります。

こうした取り組みは、県内、特に石見部の市・町で高校存続のため実施されております。県立高校の再編問題は私たち「江工会員」としても人ごとではない「江津工業高校」の存続の大きな問題であります。江津市役所支部においても会員一丸となり江工存続に向けての取り組みについて検討してまいる所存であります。

終わりに江津市役所支部もここ数年、総会と送別会を合わせての開催が続いております。会員数の年々減少傾向に

ありますが、「江津工業高校」の校訓であります「質実剛健・不撓不屈」の精神のもと、少数精鋭ながら会員一丸となり「江工会」発展のため頑張つて参る所存であります。

### 同窓会

#### 同窓会

九州支部長 大草 正  
(建築科 昭和三十一年卒業)

平成二十四年十月二十九日、我々三十一年卒はいよいよ後期高齢者の仲間入りとなり、足腰も弱くなり持病の為の欠席者も多く十二名の出席で東京浅草にて開催されました。

宴会では、各自の近況報告なかでも今服用している薬の量自慢、病気の事、学生時代の知らざれるエピソード等で盛り上がりました。

今回残念ながら、前会長の室安氏と東京にて同窓会で再会する約束をしていたのですが、ご冥福をお祈りいたします。(合掌)

次の日はスカイツリー見学四百五十メートルの空中回廊より都内(武蔵の国)一望出来ました。日本の建築技術のすばらしさに感動いたし、又